

中学生の「税についての作文」及び、
小学生の「税に関する書道・
ポスター」の募集事業について

次代を担う中学生及び児童の
皆さんに、税を身近に感じ、自
分たちと税がどのように関わっ
ているかを正しく理解してもら
う趣旨から、国税庁・全国納税
貯蓄組合連合会・兵庫県納税貯
蓄組合総連合会等が主体となり
事業を実施しています。

近畿納税貯蓄組合
総連合会会長賞



榎列小6年 天野更咲

兵庫県納税貯蓄組合
総連合会会長賞



賀集小6年 増田彩花



由良小6年 加田実咲

淡路納税貯蓄組合
連合会会長賞



松帆小6年 小坂萌依

公益社団法人淡路納税協会会長賞



多賀小5年 満永和磨

✿兵庫県納税貯蓄組合総連合会会長賞

六年 岩田 梨夢
納税

洲本第一小6年
岩田 梨夢

五年 高垣 怜音
納税

洲本第三小5年
高垣 怜音

六年 矢野 明日香
税金

鮎原小6年
矢野 明日香

六年 西岡 和奏
納税

生穂小6年
西岡 和奏

六年 西田 千咲
税

松帆小6年
西田 千咲

✿淡路納税貯蓄組合連合会会長賞

六年 松浦 万季
税金

洲本第二小6年
松浦 万季

六年 堀田 侑那
納税

洲本第二小6年
堀田 侑那

五年 中村 優花
納税

洲本第三小5年
中村 優花

六年 指出 倭圭那
納税

洲本第三小6年
指出 倭圭那

六年 本村 埜乃
税金

加茂小6年
本村 埜乃

六年 前川 雅姫
税金

大野小6年
前川 雅姫

六年 黒田 穂香
税金

大野小6年
黒田 穂香

五年 魚崎 茉友子
納税

由良小5年
魚崎 茉友子

六年 高尾 柁音
と生活
税金

都志小6年
高尾 柁音

五年 徳田 花音
納税

広石小5年
徳田 花音

六年 立山 暢乃佳
税金

堺小6年
立山 暢乃佳

六年 井岡 俊介
納税

塩田小6年
井岡 俊介

六年 奥井 颯太
申確定
告知

生穂小6年
奥井 颯太

六年 木戸 寿朱乃
税金

学習小6年
木戸 寿朱乃

六年 片平 結愛
納税

北淡小6年
片平 結愛

公益社団法人
淡路納税協会会長賞

六年
野津 星
税金

洲本第一小6年
野津 星

六年
正井 美羽
税金

洲本第一小6年
正井 美羽

五年
松井 優香
納税

洲本第三小5年
松井 優香

六年
喜田 あゆみ
納税

洲本第三小6年
喜田 あゆみ

六年
小林 大起
納税

鮎原小6年
小林 大起

六年
大下 花純
納税

中田小6年
大下 花純

六年
櫻井 万祐子
国税

一宮小6年
櫻井 万祐子

六年
柿 彩以奈
納税

松帆小6年
柿 彩以奈

六年
里深 叶恋
税金

榎列小6年
里深 叶恋

六年
堀部 那奈実
納税

八木小6年
堀部 那奈実

六年
神田 芹那
納税

倭文小6年
神田 芹那

六年
柏木 安那
税金

松帆小6年
柏木 安那

六年
米倉 凜花
納税

湊小6年
米倉 凜花

六年
道上 結月
税金

辰美小6年
道上 結月

六年
廣内 麻央
納税

榎列小6年
廣内 麻央

六年
前田 莉那
納税

八木小6年
前田 莉那

五年
飛田 杏桃
税金

市小5年
飛田 杏桃

六年
山上 菜花
納税

市小6年
山上 菜花

六年
入野 叶羽
納税

神代小6年
入野 叶羽

六年
増田 菜凜
納税

神代小6年
増田 菜凜

六年
泊 青夏
納税

福良小6年
泊 青夏

六年
藪 遙華
納税

福良小6年
藪 遙華

六年
森田 菜月
納税

福良小6年
森田 菜月

六年
中川 紗千
税金

北阿万小6年
中川 紗千

五年
難波 乃彩
納税

広田小5年
難波 乃彩

入賞作品抜粋「あわじ島税の作品カレンダー（30年度版）」を配布します。希望者は淡路納税協会へ。

兵庫県納税貯蓄組合総連合会会長賞

みんなのために

南あわじ市立西淡中学校 2年 出嶋希々果



私は4年生の時に「税」というものを知りました。その時はまだ税の使い道を知らなかったので、「税とかいや、わざわざどうして払わなあかんの。」、ということばかり考えてい

ました。でも5年生の夏くらいに自分のお小遣いで消しゴムを買いに行った帰りに、お母さんとお父さんに、

「なんで税なんかあるん。」

と、聞いたことがありました。そしたら、

「税がなかったら今小学校なんか多分ない」

と、言われました。そのころはさっぱり分からなかったのですが、6年生の社会で税を納めることについて勉強しました。その時にインターネットで税のことを調べました。それをきっかけに少しずつ税のことについて興味をもちました。私は、ふと思いました。

「もし税がなかったら道路もできない、学校もない。」と。

税の仕組みは、私の好きな言葉によく似ているなと思いました。

「ONE FOR ALL

ALL FOR ONE。」

一人はみんなのために、みんなは一人のために、という言葉です。みんなで税を少しずつ集めて、

高齢者や貧しい人たちに分けている、その言葉とは少し違う所もあるけどやっぱり似ています。

「ONE FOR ALL

ALL FOR ONE。」

この言葉は、とても良い言葉だと私は思います。部活動でもそうです。私はバレーボール部に入っています。それでセッターというポジションをしていました。私はレシーバーもセッターもアタッカーも、全て経験したことがあります。だから、全てのポジションの気持ちが分かります。レシーバーはセッター、アタッカーのために良いレシーブをする、セッターは、アタッカーが打ちやすいようなトスを上げ、レシーブをしてくれたので、その気持ちもせてがんばる、アタッカーはレシーバー、セッターが先に自分のためにがんばってくれた、だからアタックを決める。というようにそれぞれ誰かのために、と考えプレーをしています。

税は私たちにとってとても必要なものです。私たちの暮らしを支え、よりよく過ごせるためにあり、私たちの生活の役に立ちます。税にはたくさんの種類があり、納税をめんどくさいと思う気持ちも出てきます。でもそれ以上に、税があるおかげで、今中学校に通うことができている、自分が高齢者になっても安心、私の親に介護が必要になってもある程度は安心できると思います。

私はこれから、学校生活、部活動、家庭、そして社会でもみんなのためになれる立派な人になり、みんなの役に立っていきたいです。

*この作文は、納税表彰式典で朗読披露されました。